

活動報告②

施設見学会

岸本 隆

当協会は事業活動の一環として、平成18年11月24日（金）に建築設備技術者協会九州支部沖縄支所との共催で施設見学を行いました。参加者は正会員、賛助会員の40人でした。

見学施設は、おもろまちに建設された、沖縄県初の博物館と美術館を併設した建物です。

施設規模は、構造がRC造と一部鉄骨造、階数が地下1階、地上3階建て、延べ床面積は23,602㎡の大規模施設になっています。

建物の外壁は、室内への直射日光を遮断する様に設けられ、環境に配慮した造りになっているだけでなく、琉球石灰岩を利用し沖縄の石造文化を彷彿させる建物です。

建物に入るとガジュマルの木陰を連想させるエントランスホールが広がっていて、やさしい風を感じる心なごむ空間となっています。

内部は、エントランスホールを中心に博物館ゾーンと美術館ゾーンを構成した建物です。

文化施設に大切なことは、人と環境にやさしくあることだと思います。

そして、本建物には、下記のようなやさしいデザインが実施されています。

- 1) 車イス、ベビーシート、オストメイトに対応した多機能トイレがある。
- 2) 入口には音声誘導装置を設置している。
- 3) 冷房は夜間電力を利用した氷蓄熱方式を導入している。
- 4) 雨水を有効利用するため雨水タンクを設けて、屋外散水用に利用している。
- 5) トイレの洗浄水用に再生水を利用している。
- 6) 展示室は昼光センサー調光制御で光環境を調整している。

空調設備の熱源機器として

蓄熱運転用に熱回収型製氷ヒートポンプチラー365KW×2台を設置して、水蓄熱槽：3,500KW×2基と温水蓄熱槽：4,000KW（500t）に供給している。

負荷不足時追いかけて運転用に吸収式冷温水発生機：1,047KW×2台を設置している。

興味ある設備として、エントランスホールの冷房負荷を和らげるため、床冷房設備が施されています。

冷水温度は、入口温度が17℃、還り温度差3℃で冷水を循環させている。

衛生設備の機器として

上水用受水槽（2槽式）：40t×1基、再生水用受水槽：38t×1基、雨水槽：65t（処理水槽）を設置して、加圧ポンプで必要個所に供給している。

最後に（有）二基建築設計室の比嘉恒夫、（株）設備研究所の波照間辰生の案内で有意義な施設見学会になったことを、お礼申し上げます。

県立博物館・美術館 外観

